

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341075	こども文化 Child culture	宮武里衣			1	選択	4前期
科目の概要							
保育や教育に携わる者にとって、子どもたちが現在どのような環境に置かれ、どのような問題を抱えているのかを理解することは充実した保育や教育をするために必要である。本講では、子どもの生活上の課題を、地域、年齢、家族など幅広い観点から掘り下げ、健やかな子どもの成長を育むために保育者・教育者として、どのように子どもを導くのか考察検討する。DP②の中の「現代の子どもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができる」に直結する科目である。授業者は公立学校で教員として勤務した実績がある。							
学修内容				到達目標			
① 文部科学省がまとめる子どもに関する調査やマスメディアの情報から、子どもを取り巻く状況を理解する。 ② 様々な観点で、子どもに関する問題や現状を調べ、現在の子どもに関わる課題を追究する。 ③ 子どもを育むための保育者・教育者としての方法と心構えを考える				① 子どもに関する調査やマスメディアの情報から、子どもを取り巻く状況についての問題を解決しようとする。 ② 子どもの現状と課題について、テーマを設けてグループで調査考察し、発表する技術を獲得できる。 ③ 子どもを育むための保育者・教育者としての方法と心構えを知り、将来の職業で活用できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	到達目標に向けた課題を行うのに必要な知識について、参考文献・資料や文部科学省のデータ等を使って自己学修することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	目標達成に向かって、最後まで課題追究することができる。					
考え抜く力	課題発見力	講義や文献、グループ活動等で得た情報を客観的に整理し、課題を見出すことができる。					
	計画力						
	創造力	課題や問題を、様々な方向から柔軟に考え、自分なりの見解を持つことができる。					
チームで働く力	発信力	調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で発表することができる。					
	傾聴力	講義をを理解し、他者の意見によく耳を傾けて、そのうえで自分の考えを構築することができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻や無断欠席をせず、授業に集中することができる。また、提出物の期限を守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<ul style="list-style-type: none"> ・各種新聞(一般紙・教育用新聞) ・文部科学省HP 							
他科目との関連、資格との関連							
「こども文化」は専門科目であり、幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目の一部である。「保育内容(表現B)」「保育内容(環境)」で獲得した知識・技能を活用し、その後に履修する「こども表現(図画工作)」の基盤となる科目である。保育士資格との関連がある。							
学修上の助言				受講生とのルール			
子どもに関する話題に関心を持ち、各種新聞・文部科学省HPを読んで、子どもについての見識を深め、問題意識を喚起するように努める。毎回の授業内容をノートに正確にまとめる。				遅刻3回で欠席1回と数える。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		60	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) Aの基準を十分満たしている上に、読み手や聞き手に説得力をもって伝えることができる。また、発表及びグループ活動では、グループの推進力になっている。</p> <p>A (優) レポートや発表において、取り上げた資料から課題を正確に見出し、客観的な根拠を示しながら、筋道を立てて意見を示すことができる。併せて、授業態度において社会人基礎力のレベルが6割以上認められる。</p>	<p>B (良) レポートや発表において、取り上げた資料から課題を見つけ、根拠を明確にして、自分らしく意見を示すことができる。併せて、授業態度において社会人基礎力のレベルが4割以上認められる。</p> <p>C (可) B基準を満たしていない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・授業の進め方理解する。 ・子どもの生活の現状における課題を話し合う。	講義 ディスカッション	・授業の進め方を説明できる。 ・子どもの生活上の課題を見つけることができる。	(予習) 学泉ノートを読んで、学修に向かう心構えを確認する。 (復習) 授業を振り返り、ポイントを整理する。	90	主体性 規律性
2	・新聞記事から課題を見つけ解決策を発表する。 ・意見文のまとめ方を理解する。 ・文部科学省「生徒指導上の諸課題」の調査項目より、テーマ選定の観点を学ぶ。	発表 ディスカッション 講義	・子どもの現状における諸課題の見つけ方が説明できる。 ・新聞記事のまとめ方の要領が理解できる。	(予習) 新聞記事を読み、子供に関わる課題を整理する。 (復習) 授業を振り返り「授業ポイント①」を整理する。 (google classroomドキュメントに提出する) ※以下「授業ポイント」は、この方法で提出する。 追究するテーマを定める。	90	主体性 働きかけ力
3	・新聞記事を材料に、意見交換する。 ・子どもをめぐる問題のテーマを理解する。 ・記事をテーマに分類する。	発表 ディスカッション	・新聞記事発表に対し、自分の見解を説明できる。 ・テーマについて、2つ以上の観点で設定理由が書ける。	(予習) 新聞記事を読み、子どもに関わる課題を整理する。追究テーマについて説明できるようにする。 (復習) 追究テーマにした主題設定の理由を書く。	100	実行力 課題発見力
4	・文科省「子どもの現状における課題」を材料に、意見交換する。 ・項目の内容を要約する。	発表 ディスカッション 講義	・「子どもの現状と課題」について意見を発表できる。 ・資料のまとめ方が理解できる。	(予習) 文科省のホームページを読み、子どもに関わる課題を整理する。 (復習) 追究テーマについて、資料を検索する。	100	主体性 発信力
5	・新聞記事と文科省の記事から、研究テーマを設定する。 ・設定したテーマの理由とテーマの用語の定義をする。	発表 ディスカッション 講義	・資料からテーマを考えることができる。	(予習) 新聞記事と文科省のホームページから課題を整理する。資料を探す。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント②」を整理する。	100	実行力 傾聴力
6	・前時に設定したテーマについて、発表用の資料を作る。	発表 ディスカッション 講義	・収集した資料から、発表用にまとめることができる。	(予習) 資料を精選する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント③」を整理する。	100	課題発見力 傾聴力
7	・設定したテーマについて、発表用の資料を工夫して作る。	発表 ディスカッション 講義	・資料のまとめ方や発表の工夫が理解できる。 ・発表の流れを考慮しながら、資料にまとめることができる。	(予習) 資料の順番を考える。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント④」を整理する。	100	課題発見力 創造力
8	・設定したテーマについて、発表用の資料を完成する。	発表 ディスカッション 講義	・資料のまとめ方や発表の工夫が理解できる。 ・発表の流れを考慮しながら、発表の準備を完成する。	(予習) 発表資料の問題点を明らかにしておく。 (復習) 発表資料を完成させる。 (googleclassroomドキュメントにより提出する) ※採点し返却する時にコメントでフィードバックする。	100	情況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・第1グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表について考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑤」を整理する。	120	課題発見力 状況把握力
10	・第2グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表について考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑥」を整理する。	120	課題発見力 創造力
11	・第3グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表について自分なりの考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑦」を整理する。	60	主体性 発信力
12	・第4グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表について考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑧」を整理する。	60	課題発見力 発信力 傾聴力
13	・第5グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表について考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑨」を整理する。	60	発信力 状況把握力
14	・「子どもの現状と課題」をテーマに、課題を設定しレポートにまとめる。 ・レポートの書き方(構成仕方、引用の書き方)を学ぶ。	グループ討議 レポート	・他者の発表も含めて、自分のテーマを精選することができる。	(予習) 各テーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) レポートを完成する。	60	発信力 規律性
15	・「子どもの現状」をテーマに、課題を設定しレポートにまとめる。 ・レポートのセルフチェック(語句、記号など文章表現)の仕方を学ぶ。	グループ討議 レポート	・テーマに沿った構成にできる。	(予習) 各テーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) レポートを完成する。	60	課題発見力 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力